

2022年 6月 10日

東北整形災害外科学会 参加感想文

大学名	弘前大学	学年	4年
名前 (イニシャル)	S. T		
参加学会名	第119回 東北整形災害外科学会		
期日	2022年6月3日～6月4日		
【感想】(400字程度) <p>学会では症例に対してある治療法を選択したらこのような結果が得られたというのを共有していたり、自分がどのようなことに取り組んできているかを発信しており、教科書だけでは学べないより実践的でより先端をいく非常に刺激的な場であった。その根底には解剖など教科書にあるような基礎的なことに基づくものであったから、学会で何かを吸収しようとしたり刺激を受けるには基礎的な学習が不可欠だと感じた。</p> <p>また、今回は実際に発表するという貴重な機会をいただき、限られた時間内で伝えなければならない情報と伝えたい情報を伝えきるという難しさを改めて感じた。ただ、それ以上に発表するまでの過程で、指導医の先生の臨床経験に基づく仮説を今回は岩木健診のデータを用いてどのように検討していくかという一連の流れを研究室研修で学ぶことができたのは医師になった後でも生かせる貴重な経験であった。</p> <p>今回様々な貴重な経験をさせていただいた指導医の先生、関係者各位には感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>			

2022年6月7日

東北整形災害外科学会 参加感想文

大学名	秋田大学	学年	6年
名前 (イニシャル)	S.H		
参加学会名	第119回東北整形災害外科学会		
期日	2022年6月3日～6月4日		
【感想】(400字程度) 今回、東北整形災害外科学会に参加させていただき、大変貴重な経験をする事が出来ました。学会での発表が初めてだったこともあり、学生セッションの発表は緊張しましたが先生方の熱心なご指導のおかげで自信をもって楽しんで発表をすることが出来ました。また、発表以外の時間に先生方のシンポジウムや英語によるセッションを見させていただき、レベルの高い発表に圧倒されながらも大変刺激を受けました。自分も数年後には同じように学会に参加し発表をするのだという思いを日々忘れず、実習のカンファレンスでの発表などから意識して臨むようにしていきたいと思いました。自分は学会に参加することすら初めての経験だったのですが、先生方が優しく声をかけて下さり楽しく充実した時間を過ごすことが出来ました。初めての学会参加が整形外科の学会で本当に良かったと思っています。もしまた学会での発表の機会があった際は是非積極的に参加したいと考えております。今回学会に参加させて頂き本当にありがとうございました。			

2022年 6月 10日

東北整形災害外科学会 参加感想文

大学名	岩手医科大学	学年	4 年
名前 (イニシャル)	Y. I		
参加学会名	第 119 回東北整形災害外科学会		
期日	2022年 6月 3日～6月 4日		
【感想】(400字程度) 私は学生セッションの演者として学会に参加させて頂きました。5分間という短い発表でしたが、先生方からご質問やご指摘をいただき新たな着眼点や課題を得ることができました。他大学の方々の発表のクオリティも非常に高く、内容もどれも興味深く刺激を受けました。 また、シンポジウム等にも参加させて頂き、先生方が現場の第一線で得た知見を熱く討論している姿を観させて頂きました。「患者さんの QOL の向上」というゴールに対して多様な視点からアプローチされた治療法があり、医学の進歩における学会の重要性をひしひしと感じました。 まだ 4 年生ということもあり、先生方の演題内容は理解できることの方が少ないという状態ではありましたが、学生として学会の雰囲気を味わうことができたというのは非常に良い経験であったと感じています。 初めての学会参加でしたが、学会への参加を通して整形外科への興味もより強くなりました。この度はこのような貴重な経験をさせていただいたことに心より感謝申し上げます。			

R4年6月7日

東北整形災害外科学会 参加感想文

大学名	山形大学	学年	6年
名前 (イニシャル)	F.T		
参加学会名	東北整形災害外科学会		
期日	2022年6月3日～6月4日		
【感想】(400字程度) この度は学会で発表する機会をいただきありがとうございました。 拙いながらも研究から発表まで行うことができ、大変有意義で貴重な経験をさせていただきました。発表準備を進めていくなかで、わからないことが次々と出てきましたが、その度に文献を調べたり教科書を読み返したりしたことで自分の知識をより深めることができましたと思います。当日の学生セッションでは、他の演者が堂々と発表し受け答えしている姿を見て非常に良い刺激を受けることができました。今回私共は賞を戴くことはできず少し悔しい思いもありますが、この経験を糧に日頃の勉強により一層力を入れて頑張りたいと思いました。 また、学生セッション以外のセッションも聞かせていただきました。珍しい症例が多く、私にとっては理解が難しいことが多々ありましたが、将来はこのような場で発表したり議論に参加できるようになりたいと思いました。			

令和4年6月7日

東北整形災害外科学会 参加感想文

大学名	山形大学	学年	6年
名前 (イニシャル)	S.N		
参加学会名	東北整形災害外科学会		
期日	2022年6月3日～6月4日		
【感想】(400字程度) 今回、コロナ禍で複雑な社会情勢の中、貴重な発表の機会を与えて頂きありがとうございます。 学会での発表を通して医療者人生を歩む上で大きな経験を得ることができたと感じています。初めての検証、発表でしたが、教科書的な知識だけではなく文献的な知見についても調べる機会があり、多くの学びがありました。学会を通して様々な分野の発表について聞く機会もありました。教科書には載っておらず、この場でしか聞くことのできない内容ばかりで学生の中に経験できた貴重さを実感しております。また、学生セッションでは臨床疾患の学生からの見方を示したものが多く、とても刺激を受けました。視界を広く持ち、深く疾患を知る大切さを学びました。会場の雰囲気や1つのセッションとして設定していることから整形外科がいかに学生のことを考えてくださっているか実感できる学会でした。 普段の臨床に加え、研究的な側面には興味があります。研究が未来の新しい医療を支えるということを強く感じ、将来自分もかかわっていきたく強く感じました。 今とは役職を変え、また東北整形災害外科学会で発表の機会を作れるよう勉学に励みたいと思います。			

2022年 6月 20日

東北整形災害外科学会 参加感想文

大学名	福島県立医科大学	学年	6年
名前 (イニシャル)	S.K		
参加学会名	第119回東北整形災害外科学会		
期日	2022年6月3日～6月4日		
【感想】(400字程度) 今回、初めて学会に参加して発表はありませんでしたが、多くの先生方の講演を聴いて知見を広めることが出来ました。 若手症例報告セッションでは、若手の先生方が経験した症例ということでなじみやすいテーマも多くあり、発表の姿勢なども含めて大変参考になりました。 ランチョンセミナーでは、相澤利武先生の肩関節疾患の疼痛管理の講演を聴き、薬剤による管理から手術についてまで詳しく学ぶことが出来ました。特に変形性肩関節症において二次性変形性肩関節症へのリバーズ型人工関節の適応などに関する話題はやや難しくもありましたが、手術の変遷を垣間見ることができて非常に勉強になりました。 イブニングセミナーでは、二階堂琢也先生の脊椎手術の講演を聴きました。実習中に脊椎ナビゲーションを用いた手術を何件かみていたこともあり、安全性の点の話は今から学んでおくべきことだと思い、真剣に聴かせていただきました。 1日目のみの参加でしたが、学ぶことが多く非常に良い経験となりました。			

2022年 6月 20日

東北整形災害外科学会 参加感想文

大学名	福島県立医科大学	学年	6年
名前 (イニシャル)	M.A		
参加学会名	第119回東北整形災害外科学会		
期日	2022年6月3日～6月4日		
<p>【感想】(400字程度)</p> <p>今回初めての学会参加でしたが、学生のうちにこのような貴重な機会を与えていただけたこと感謝申し上げます。</p> <p>私は今回学生セッションで発表をさせていただきました。3月から先生方と準備をし、何度も修正を重ねながら推敲する作業は医師になってから学会参加をするにあたり大変重要な経験であり、このような経験を学生のうちにできたことは大変意義のあることだと感じました。</p> <p>学会当日は先生方の発表やシンポジウムでのセッションを見学しました。発表の仕方から質疑応答の受答えなど学ぶ点が多くありました。特に英語によるセッションでは、若手の先生方と上級医による活発な意見交換が行われておりとても刺激を受けました。</p> <p>今後の医師人生において学会に参加する機会は多くあると思いますが、初めての学会参加となる今回の東北整災は強く印象に残ると思います。今度は整形外科医としてこの学会に参加できるよう勉強に励みたいと思います。</p>			

2022年 6月 20日

東北整形災害外科学会 参加感想文

大学名	福島県立医科大学	学年	6年
名前 (イニシャル)	K.K		
参加学会名	第119回東北整形災害外科学会		
期日	2022年6月3日～6月4日		
【感想】(400字程度) 東北整災では学生セッションに参加させていただきました。血管柄付き腓骨移植術について発表しました。学会での発表に向けた準備から参考文献の調べ方まで発表の準備は大変勉強になる貴重な機会となりました。実際に発表してみたことは貴重な経験となりました。実際に発表の場の雰囲気を経験できてタイトな時間で発表することも貴重な体験となりました。質疑応答の時間も医師の先生の方々から質問を受ける機会も大変貴重な経験となりました。若手医師セッションの先生の発表も見ることができて自分が実際に将来若手セッションしたときにどのように発表すればいいのかも見ることでイメージを膨らませることができたのは貴重な経験となりました。また、先生方のセッションを見ることができて学校の座学では学ぶことのできない臨床的な講義も受けることができて整形外科により興味を持つことができる機会となりました。			